

町提案内容に対する意見、要望

カテゴリ	小カテゴリ	校区	意見、要望内容	6月11日現在 回答
1 通学手段	(1)奥出雲交通による運行について	亀嵩	【その他通学方法に関して】 「奥出雲交通の現状路線維持を最優先に検討している」ことについて:この論理は大人の都合を優先しているように見える。子どもたちの事を最優先に検討して頂きたい。	新小学校の通学方法にかかる町の考え方は、6月18日提供の追加資料の中で説明させていただきます。 なお、バス停の位置見直しは、再編意向とりまとめ後の統合小学校開校に向けた協議の中で取り扱う予定です。
		八川	今の奥出雲交通の本数を増やして欲しい	
	(2)スクールバスの整備について	布勢	・通学方法 通学について、多くの不安がある。低学年と高学年の終業時刻、児童クラブ、習い事など様々なケースを想定し、バスのダイヤ、ルートの見直しを含めて検討すべきと考える。当面は乗車定員を超えることも考えられる。スクールバスを運行するののも一つの方法ではないか。	
		亀嵩	【バスの運行方法について】 奥出雲バスを児童通学用として町が借受けてスクールバスとして運営する。下校時も放課後児童クラブに行くバスを運行、その後その他の児童用に運行すれば良いのではないかと	
		亀嵩	【バスの運行方法について】 路線バスで中学生や一般の乗客と一緒に乗せるよりも、スクールバスを走らせた方が良いのではないかと。	
		亀嵩	【バスの運行方法について】 路線バスの利用客数を考えると、路線バスを維持するために児童を路線バスに乗せるよりも、路線バスはデマンドタクシーなどにして、バスを通学用に回すという選択も考えられるのではないかと。	
		阿井	今後、登校班の人数が減り1～2名で登校することを考えるとスクールバスの整備を検討してほしい(現在でも1時間の通学距離があり冬場の下校を心配している)整備できない場合は、最低限現状の運航数を維持していくことを明文化してほしい	
		三沢	そもそもスクールバスを再度検討してほしい。	
		八川	遠方の方は通学時間が長すぎるので、スクールバスを導入して欲しい 大型バスは運転手不足が懸念されているので、普通免許で運転できる小型スクールバスを購入して欲しい。地域の雇用にもつながる	
		(3)バス路線・バス停について	亀嵩	

カテゴリ	小カテゴリ	校区	意見、要望内容	6月11日現在 回答
1 通学手段	(3)バス路線・バス停について	三沢	現在利用の少ないバス停は廃止し、路線やバス停位置を見直してほしい。	<p>通学路の安全確保は、再編の有無にかかわらず対応を検討します。 通学サポートについては検討をしますが、永続的な対応は現在考えていません。バス停までの通学方法等については、再編意向とりまとめ後の統合小学校開校に向けた協議の中で取り扱う予定です。</p> <p>なお、バス乗降場所については、仁多地域、横田地域とも学校敷地隣接地を想定しています。</p> <p>*バス利用による保護者負担はありません。</p>
		亀嵩	【通学路の安全確保について】 子どもがバスで亀小に通学しているが、バス停までは歩道もない所を歩いている。安全に通わせたい。(バス停を近くに設置して欲しい。)	
		馬木	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の奥出雲交通のバス路線を利用することであるが、一番長く乗っている子供は、約1時間バスに乗っていないといけない。通学時間が長くなることによって低学年の児童にとって負担になることが心配。統合実施した事例では、1年生が登校後疲れているそうであるが 車酔いをする子供もいるが、現状では、対応できる大人がいないので、不安 中高生と同じ便に乗るのか。 通学バスの乗降場所がどこになるか？横田駅のロータリーならば道路を横断する際の安全確保ができるか？ バス料金は？ 【対応案】 <ul style="list-style-type: none"> 必要な時に必要な路線の確保をしてほしい。 例小馬木地区は、大谷経由で横田へ出る方が時間的に短縮できる。馬木地区は、大馬木⇨八川便と小馬木⇨大谷便を確保する <ul style="list-style-type: none"> 横田中の通学バスの乗降地のように、安全が確保できるバス乗降場所を確保する。 	
	(4)徒歩通学距離(3km)について	亀嵩	【バス停までの往復の方法について】 かつては3km以上の徒歩通学はよくありましたが、現在では3km未満でも学校やバス停まで車で送迎している保護者も多く、3km以内の家庭にも家庭の実情に応じてバス停輸送支援があってもよいと思います。	
		亀嵩	【バス停までの往復の方法について】 「バス停から家庭までの距離が3km以内の場合は児童生徒をバス停へ運ぶための支援は行わない」ことについて：現在、旧高田小学校の児童のうち数名が2～3kmの距離を登校班で通学しているが、実際には保護者がバス近くの集合場所まで自家用車で送っている。児童数の多かった昔と違い、また、野生動物や不審者の危険も増しており、1-2人だけで3kmの道のりを徒歩でバス停まで通うのはもう無理である。結局、子どもの安全確保のため保護者が送り迎えする事となり、共働き家庭に大きな負担となる。そんな地域にはもはや子育て世代は戻ってこない。統合するならば生徒の徒歩距離をもっと短くするべきである。	<p>3kmについては、文部科学省が示す「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令」の記載(適正な規模：通学距離が、小学校にあっては4キロメートル以内)を参考に、現校区の現状を踏まえて提案しています。</p> <p>なお、距離の見直しについては現在予定していませんが、例えば2kmに短縮する場合、バス停までの支援をどうするのか、全地区で同様な対応ができるのかを含め判断することになります。</p>
	亀嵩	【バス停までの往復の方法について】 バス停まで2-3kmあり、バス通学となれば、積雪時等の事も考えるとバスに乗り遅れないようにするために結局親が送る必要が出てくる。子どもが将来地元に戻ってくる年代になった時、親が毎朝送迎しなければならないような所へは帰って来いと言えないと思う。		
	三沢	徒歩通学圏3km以内とあるが、3kmの根拠は？		

カテゴリ	小カテゴリ	校区	意見、要望内容	6月11日現在 回答
1通学手段	(5)サポート体制について	布勢	・通学方法 通学におけるサポートは受けられるのか、乗降場所や人数の把握などの責任を誰が負うことになると考えているのか、また、特に冬季の安全面の確保に対する検討もなされているのかを確認したい。	通学サポートについては検討を始めますが、永続的な対応は現在考えていません。
		阿井	小学校1年生から路線バスを利用して通学するようになるが、バス停での乗降確認やバスの中での指導が一定期間必要ではないか(特に下校時は低学年のみでバスに乗車することがあるため降車忘れや乗車中のトラブルなどが発生する可能性があるため)	
		三沢	バス停で待つ児童は誰が見守るのか?また、雨内の無いバス停は整備されるのか?	
		横田	通学生徒の安心・安全に配慮した仕組み作り・サポート体制の充実。	
	(6)周辺整備について	亀嵩	【通学路の安全確保について】 通学路狭い	通学路の安全確保は、従前から町の通学路安全推進協議会にて対応しております。バス停までの通学方法等については、再編意向とりまとめ後の統合小学校開校に向けた協議の中で取り扱う予定です。
		亀嵩	【通学路の安全確保について】 歩道の除雪	
		亀嵩	【通学路の安全確保について】 “こども飛び出し注意”の看板を設置して欲しい	
		八川	バス停まで遠い人や大雪の対応を検討して欲しい	
		馬木	・積雪の量は、横田地区と馬木地区では明らかに差がある。横田地区の子は登校できても、馬木地区の中でも一層積雪が多い家庭では登校できないことが予想される。登校できる子とできない子との差が生じる心配がある。	
	(7)その他通学方法について	亀嵩	【その他通学方法に関して】 統合した後に「やはり近い学校の方が良かった」とならないように子どもの安全・安心をしっかりと考えるべき。	なお、高尾小新規路線対応については、他校区と比べ現バス路線が不十分であることから提案しています。
		阿井	登校時に時刻を把握するため通学班長に時計を持たせることができないか	
		三沢	新規路線の提案がある校区があるのはなぜか。	
		八川	車酔いが激しい子供の対応を検討して欲しい(タクシー補助含む)	
		八川	通学については、困る人の意見を良く聞いて検討すべき	
八川		通学は必ず徒歩区間も有りにして欲しい(例えば集団登校して学校からバスに乗る等)		
7)その他通学方法について	馬木	各家庭での送迎は可能なのか、その際の駐車場は十分にあり、近隣に迷惑とならないか	詳細な部分については、再編意向とりまとめ後の統合小学校開校に向けた協議の中で取り扱う予定です。	
2放課後児童クラブ	(1)設置場所、運営方法について	亀嵩	【放課後児童クラブについて】 放課後児童クラブの入所先は選択できるのでしょうか?親の仕事などを考慮して、選択できると良いです。	放課後児童クラブについては、町としては住所地の児童クラブへの入所を基本としたルールを新たに設ける予定です。具体的な運用方法、現状の改善については、意向とりまとめ後協議していく予定です。
		亀嵩	【放課後児童クラブについて】 「放課後児童クラブは小学校を再編しても現在の場所で運営」について:それはなぜか。放課後児童クラブこそ、遊びの集団規模を確保したほうがよいのではないか。	
		亀嵩	【放課後児童クラブについて】 地区がこれから寂れていくのは確実である。せめて放課後児童クラブは地区に残してほしい。	
		横田	放課後児童クラブの更なる運営向上。	
		八川	児童クラブについては、申込人数に応じた適切な対応を望みます	

カテゴリ	小カテゴリ	校区	意見、要望内容	6月11日現在 回答
2放課後児童クラブ	(2)学校からの移動方法について	三沢	児童クラブ利用者には帰りのバスはあるようだが、利用しない児童はバスに乗車してはいけないのか。	<p>新小学校の通学方法にかかる町の考え方は、6月18日提供の追加資料の中で説明させていただきます。</p> <p>なお、放課後児童クラブ実施場所経由の下校用ダイヤを現在検討しておりますが、放課後児童クラブを利用しない児童の乗車も想定しています。</p>
		三沢	小学校からの帰りもバス路線として全員を対象にしてほしい。	
		馬木	再編後も馬木は現在の場所で運営し、各地区児童クラブまでのバス路線を確保すると示されているが、 ・学年よって下校時刻に差がでるが、どう対応するのか A案:低学年の授業終了時刻に合わせたバス輸送で馬木児童クラブへ➡家庭が馬木児童クラブへ迎えに行く B案:全学年の児童が下校になるまで待っていて馬木児童クラブへ➡家庭が馬木児童クラブへ迎えに行く	
3現小学校施設、公民館施設	(1)跡地利用	亀嵩	小学校の跡地は地区のコミセンとして扱う	<p>再編後使用しなくなる学校施設については、町としては原則地域の活動拠点として活用していきたいと考えています。運営助成など具体的な支援策は、地域づくり推進課が進める小さな拠点づくりと一体となつて、協議の中で検討したいと考えます。</p>
		三沢	児童福祉施設を小さな拠点づくりなどで検討できると思われるが、運営に関する町からの助成は検討してもらえるか。	
		八川	・校舎利用については、例えばサポートが必要な児童用のスクールに活用する等、柔軟に考えて欲しい ・学校跡地は、デイサービス等の福祉施設として有効活用して欲しい ・八川小学校の校庭は、子供の遊び場として残して欲しい ・跡地は、誰か常駐する施設を希望。例えば放課後児童クラブやシェアハウス ・小学校は、皆が集い気軽に過ごせる敷居の高くない場所にして欲しい	
4仁多地域統合小学校【仮称】	(1)建設予定地について	布勢	・統合校舎の選定 統合小学校の場所について、三成に限らず、最も新しい亀嵩なども含め検討すべき。絶対に安全な場所、施設であること。常に陽のあたる場所であること。利便性が良い場所であること。	<p>町としては、仁多地域統合小学校(仮称)を設置するにあたり、建設場所がどこであろうと「児童、教職員ともに使いやすい校舎」「再編後児童数を許容できる、十分な広さの校庭」「児童専用で使える体育館」「児童が安全に登下校できるためのバス乗降場所」は必須であると考え、5つの建設候補地を教育魅力課にて示し、総合教育会議にて協議いただきました。</p> <p>協議の結果、町として候補地は、「現三成小学校敷地にて(体育館を除き)新校舎建設」で先般5/27開催の校区別協議会代表者会議において提案しております。校舎の具体的な設計内容については、各校区意向とりまとめ後、最終決定することになると考えています。</p>
		亀嵩	【仁多地域統合小学校(仮)について】 新三成小の建築候補地その他の情報がなく議論ができない。町は情報をしっかり出してほしい。	
		阿井	新しい小学校の建設場所の決定にあたっては児童が伸び伸びと学校生活ができるよう配慮してほしい 結論を急いで中途半端な決定にならないようお願いする	
	(2)施設整備について	阿井	グラウンド、体育館は小学校固有のものを準備してほしい	
		布勢	・校舎建設 校舎建設について、新小学校建設より既存の小学校の耐震化、増築との経済比較はなされたのか。新たに建設するのであれば、安全で、快適、親しまれる校舎を望む。また、現状の児童クラブの運営にも限界(職員数の減少等)がある。将来を見据えた複合施設としてもよいのではないかと考える。現在の児童クラブとして利用する施設も老朽化が確実に進んでいる。	
		阿井	再編の合意状況をみて新校舎の建築規模(教室数、床面積など)を設計するのか(協議期間経過後の再編は実質不可能なのか?)	

カテゴリ	小カテゴリ	校区	意見、要望内容	6月11日現在 回答
その他	(1)具体的なビジョン(目指す子ども像など)について	布勢	子供たちにとって一番何が大切なのかを大人がしっかり見極め、子供たちの視野、世界が広がるように、また未来に向け様々な選択ができるような教育環境になる事を特に希望する。	
その他	(2)再編方針	布勢	・教育環境 少人数、多人数のそれぞれメリット・デメリットがあることは理解する。もっと様々な方面(学力やコミュニケーション力など)の細かな統計、分析の結果を示して説明していただくことはできないか。	町としては、「令和7年4月に仁多地域1校、横田地域1校に小学校を再編する」提案をさせていただいています。子どもたちの教育環境を考えると、子どもたち同士が学び合うにはある程度の学級規模が必要であり、その持続可能性を考えた結果、再編が必要との考えに行き着きました。 校区の皆様には、町の提案に対し「再編に同意する」または「再編を見送る」のいずれかを校区の意向としてまとめていただきたいと考えています。 なお、町としては全ての校区に同意いただき再編することが子どもたちにとって最善であると認識しています。 また、町の提案する時期よりも前に統合を希望される校区がある場合には、個別の協議をさせていただきながら手続き、留意点などを提示させていただきたいと考えます。
		布勢	・支援体制 現在の学習サポート体制については満足している。再編し人数が増えた場合でも増員等の対応は考えているのか確認したい。また、子供達の環境が急に変わることへの心のケアを含めたサポート体制を構築する考えはあるのか、どういった方法を検討しているのか示してほしい。	
		高尾	高尾小学校では児童数減少が進んでいるので、一斉再編より先に統合を行っても良いとの説明があったが、その場合、どのような時期での統合となるのか、手続きはどのようになるのか、留意すべきこと等を提示してほしい。	
		八川	令和10年の統合が現実的。理由は令和7年時点では児童数が多く、勉強、友人関係、心の成長、大人との関係でも目が行き届く八川の教育環境の方が良いから。統合しない案でも良いと思う	
		八川	・出来れば統合しないで欲しいのが本音。少人数制で学習困難な児童へのきめ細やかな対応が出来、またコロナの感染予防対策もし易い ・統合については賛成だが、4校同時スタートでないと子供への影響が大きいと思う。スポーツ活動も、今後は人数が少なくなるので困る。 ・今回の話し合いを機に、幼少の子が住みやすく子育てもし易い町づくり → 地域づくり → 県外へアピールに生かしたい ・統合して困る方は、困る理由と今後どうしたら良いかを言って欲しい	
	(3)子どもと地域の関わりについて	布勢	・教育環境 現在、布勢小学校の教育環境には満足している。地域の見守り、ふれあいや、オオサンショウウオ調査やコマ作りなど地区特有の活動といった大切に思うものが多くある。今後も地域と関わり、繋がりが失われることがないような取り組みを行い続けてほしい。可能な限り、地域の納得できる具体案を示してほしい。	5/27開催の校区別代表者会議の中でも触れていますが、子どもだけでなく地域を支える人材も減少していく中で、地域と子どもの新しいつながり方を一緒に模索していただきたいと考えます。

カテゴリ	小カテゴリ	校区	意見、要望内容	6月11日現在 回答
その他	(4)再編実施準備について	布勢	・費用負担 統合に伴い、新たな家計への負担はできるだけ発生しないように検討いただきたい。現在の計画では小学校1年生が6年生の時に統合となる予定である。各校、制服や私服、体操服や上履き、学習道具など違いがあるのではないかと思う。子供の成長も早くリユースしながら対応している家庭も多いのではないかと考える。	様々なご意見があるかとは思いますが、まずは町の提案(仁多地域1校、横田地域1校に再編)について検討いただきたく思います。 統合小学校開校に向けた具体的な事柄については、再編意向取りまとめ後の協議を予定しています。 協議に係る資料等は、文書配布やホームページ活用で提供させていただきます。
		亀嵩	標準服の(学生服など)の廃止	
		横田	横田校区に関しては『集約校』となる為、公舎・設備・環境面に関しての改善・修繕を出来る限り要望通りの対応をお願いしたい。	
		八川	・制服がなくなるのは困る。制服を継続して欲しい ・高学年男子は、中学校の制服着用も認めて欲しい。親の負担を減らし制服を導入出来る ・制服有りにして欲しい ・新しい体操服を早く決定して、前倒しで購入できるように配慮して欲しい ・体操服や校歌は、全く新しいものに変えて欲しい	
		八川	・八川小に慣れたばかりなので、大人数のクラスに入るのが不安 ・賛成、反対の多数決はやめて欲しい	
	(5)その他	布勢	質疑、要望に対しての回答は文書のみでなく説明会か協議会での説明を求める。文書での回答は避けていただきたい。また、第1回代表者会議までに回答を求める。	
		三成	小学校の場所が決定、公表されてから協議会を開催して検討する予定です。 また、代表者の地域枠も場所が公表された後に選出する予定です。	
		亀嵩	早期決着をお願いします	
		鳥上	現在、協議会代表を決定したところまでの回答とさせていただきます。 まずは、協議会の場へ出席していくことを目的としました。 地区内、校区内での意見、要望に関しましては引き続き、地区内で協議し改めて要望をさせていただきます。 *鳥上校区は、鳥上小学校と校区外への横田小学校への入学者によってこれまで分断され情報が錯綜しています。 鳥上小学校保護者の再編情報と横田幼少学校保護者の再編情報と認識が違いすぎますので擦り合わせた上で意見・要望をまとめます。 3月9日説明の、通学問題、児童クラブ、跡地利用などに対しても同じです。	